

目指す姿 学校、学級で「自分らしさ」を発揮し、主体的に学ぶ外国人児童生徒

- 重点目標 1 「読む」「書く」力の育成を通じた日本語教育の推進
2 市内一定水準の日本語教育の提供に向けた人材育成
3 外国人児童生徒の教育に資する ICT 機器の活用の推進
4 在籍学級における日本語支援の充実

市内一定水準の日本語指導を受けられる
学校体制づくり

プロジェクト会議の開催
国際教室運営会議の開催

バンドスケールを使った
日本語の力の測定
(100%実施)
「特別の教育課程」による
個別の指導計画、個人票の作成
(100%達成)

在籍学級における
日本語支援の充実

国際教室未設置校への
日本語指導講師
(教員免許を所有)の派遣

国際教室設置校への
加配教員の配置

就学促進員(中国語・英語)
及び
母語協力員(少数言語)
の派遣

市内一定水準の日本語指導を提供するための
日本語指導担当者の指導力向上

市内全中学校対象の
日本語教育担当者会議の開催

夏季研修の開催
①外国人児童生徒等を支援する際に大切なこと
②在籍学級での日本語支援

日本語指導における
ICT 機器の活用

日本語指導担当者
ネットワーク会議の開催及び
グループ別研修

実践リーダー校、
日本語教育経験者の実践に
学ぶ研修会の実施

多文化共生教育実践 EXPO
での実践発表